

農園通信

2024年9月・10月

発行・問合せ先: 島本町農業振興団体
協議会・町民農園部会 福田

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

秋・冬野菜の植え付け

- ・インゲン豆(種)―8月中・下旬 ・ネギ(苗)―9月初
 - ・ブロッコリー(苗)―9月初 ・キャベツ(苗)―9月初～(遅くても良い)
 - ・菊菜(種)―9月中・下旬 ・サニーレタス類(種)―9月下旬、10月
 - ・大根(種)―9月初～ ・ホウレンソウ(種)―10月～
 - ・そら豆(種)―10月中・下旬 ・えんどう豆(種)―11月初
- などなど。

9月は、まだまだ暑いですが苗植え・種蒔きの季節です。

畑の作業はあらかた12月初めで終わります。気温が下がると植物は成長しなくなりますので、時期を逃がさないようにしましょう。



今年の夏も暑かった 9月も暑い

農作業中の熱中症による死亡者数多発！

「自分は暑さに強い」「今まで大丈夫だった」は禁物。地球沸騰化の時代、健康維持も野菜づくりも難しくなっていますね。

秋の到来が1か月遅れるとのこと。しかし、秋・冬野菜の植え付けを1か月遅らせる訳にはいきません。

しかし今後は、夏は水やりをしなくても良い野菜に変えたり、秋・冬野菜の品種も考えなければいけないかもしれませんね。

7月の日本の月平均気温は観測史上最も高くなりました。8月も暑さは続き、福岡県太宰府市では8月20日時点で33日連続の猛暑日(最高気温35℃以上)、国内最長記録を更新しています。

昨年の9月は過去にない高温でしたが、今年も30度を超える真夏日が予想され、昨年に匹敵する高温になる恐れがあります。秋の到来は平年より一月ほど遅れるとの予想です。

(日本気象協会)



集団のハシブトカラスで大被害

6月中・下旬、高浜地区でカラスによる大被害。集団のカラスが飛来して、トマト、トウモロコシはもちろん、畑内のキュウリが皮を残してきれいに1つ残らず食べつくされていました。若いカボチャまで突かれていました。「カアカア」とけたたましい声で鳴いていました。

防除は？ トマト、トウモロコシにはもちろんしています。カラスは下からも入るので、下も押さえています。キュウリには防除はしていません。今まではこれで防げていました。

(テグス張りやきらきら光るものなど全く効果ありません。)

普段いる2匹のカラスはハシボソカラスです。少し濁った声で鳴きます。歩き方は跳ねるのでなくトコトコ歩きます。被害と言っても知れています。

ハシブトカラスの集団の襲来は数回でおさまり、7月以降やっとキュウリを食べることができるようになりました。一時はどうなるかと思いました。(あなたが見たカラスはどっち?)

ハシボソカラスとハシブトカラスの見分け方は裏面に掲載。

	ハシブトガラス	ハシボソガラス
体長	56cm	50cm
くちばし	太く、湾曲する	ハシブトガラスより細く、湾曲も弱い
額	盛り上がる	ハシブトガラスよりも平ら
体の色	青みがかかる	全身真っ黒
地上での歩き方	ホッピング(ピョンピョン跳ねる)	足を交互に動かして歩く
鳴き声	カア、カア	ガー、ガー
好む場所	家、ビルなど立体的な場所	農耕地など開けた場所

(;^ω^) 観察が力

経験談

(Yさん)



9/3

梅雨の長雨でスイカ、カボチャがだめになった。あとで植えたものは元気だ。梅雨の時期から少しずらして遅く植えた方が良いかもしれない。

(Fさん)

今年の梅雨の雨は連続して降り続いたのできつかった。大玉トマト、スイカ、カボチャ、マツカが弱った。カボチャは梅雨が終わってから元気を取り戻し、8月からツルがほこり出してカボチャは人生を取り戻すかのように実をたくさん付けだした。

(Oさん)

九条ネギをたくさん譲り受け、干しネギとして畑の小屋に吊るしていましたがすっかり忘れてしまい、干しネギの根の部分がスカスカで使いものにならないような状態になっていました。一応、生き返りを願って畑の畝上に並べて様子を見ているところです。

(Kさん)

庭で家庭菜園を始めて、ちょうど10年。今年は、ミニトマトがとてもうまく育ちました。初めてのすいか栽培、大玉スイカ1本 20センチ強のスイカ収穫、中玉スイカ1本 3個実がなりました。友達にキュウリの小さい苗を4本もらって、きゅうりを育てましたが、3本は虫に食べられて育たず、1本だけなんとか育ちましたが、花が咲いてもすぐ虫に食べられ残念だったところ、つるがどんどん伸びて、柿の木の葉に上って行って、8月初めに初収穫しました。ダンゴ虫、ナメクジ対策、に悩まされています。

(Fさん)

今年、ピーマンは、場所条件悪いかと思いながら、南側は竹やぶ西側は柿の木のある日当たりの悪い畑に植えた。ところが昨年より元気だ。昨年は夏は実が焼けて、遮光ネットを掛けたがあまり良くなかった。ピーマンは半日陰の方が良いのかもしれない。また乾く畑だが、1週間に1度の水やりで十分。ピーマン・万願寺は水の多い畑より乾く畑の方が良いようだ。

(Sさん)

シュンギク、レタス、ミズナ、ニンジン、蒔き直おしです。切り込んだところから新しいツルが伸びてきた三度豆、花芽はつきますが、気温が高すぎてか受精しません。(8/31)

自分の畑だけでなく、他の畑もどんどん観察しましょう。野菜作りは1年1回の経験ですが、10人の畑を観察すると10年分経験できます。
レベルアップの鍵は観察にあり

農園の空き情報<問合せ先> 島本町農業振興団体協議会・町民農園部会: 福田
☎075-962-7185 ✉fukuda-ka@amail.plala.or.jp

農園通信の
アーカイブ

島本町農業振興団体協議会のHPに掲載